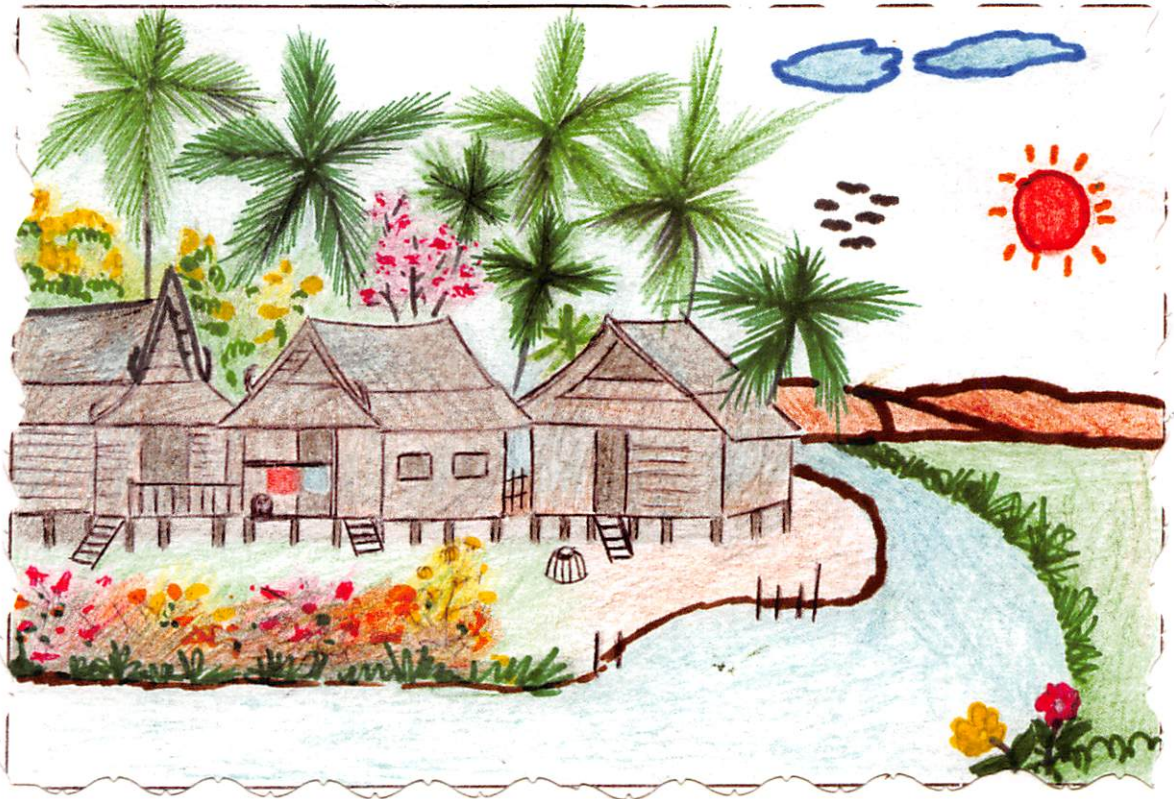


第15回

教育里親支援報告書



一隅を照らす運動総本部 「地球救援事務局」

『一隅を照らす運動総本部』の皆さまに感謝を込めて



ドゥアン・プラティープ財団創設者

プラティープ・ウンソントム秦

天台宗『一隅を照らす運動総本部』の皆さまには、仏教の教えにあります四梵住（ピロムビハーン）＝メッター（慈）一人の幸せを願う愛情、ガルナー（悲）同情して助けてあげる気持ち、ムティター（喜）一人の繁栄を心から喜んであげる気持ち、ウベカー（捨）心を静かにして見守る姿勢があること、のように慈善活動を推進されております。天台宗『一隅を照らす運動総本部』の皆さまをはじめ多くの宗教団体の方がご賛同され、世界平和のために「宗教サミット」を開催されてから25周年を迎えられますことに心よりお祝い申し上げます。

そして、何よりも天台宗『一隅を照らす運動総本部』の皆さまは、多くの義援金を世界各地の人々にご奉仕されておられることです。特に、当財団の活動の一つである麻薬の更生施設「生き直しの学校」の事業に対しては、22年前から援助の手を差し伸べていただいております。施設内の農作業に欠かせない水の確保のための貯水池づくり、青年たちの寄宿舎、ゴム園・アブラヤシ園・コーヒー園・果樹園などの植林にご協力をいただきました。さらに、皆さまには活動支援の他にも、毎年恒例のように施設をご訪問いただいて青年たちとともに植林活動、食用となる魚を池に放ったり、文化交流活動を行いながら、激励して下さっております。

また、昨年（2011年）中頃、タイでは大洪水に見舞われ、77県中64県（約200万人）の家屋などが浸水し、当財団では早急に様々な救援活動に取り組みました（詳細については、当財団のウェブサイトをご参照ください）。そして、天台宗『一隅を照らす運動総本部』の皆さまには、洪水被災地を慰問され、救援物資を手渡していただいたり、汚染された水に浸水した家屋地区にEMエキスを撒いていただきました。その後、『一隅を照らす運動総本部』総本部長の福恵先生ご一行が別の洪水被災地を慰問され、浄水器、図書室の書籍などを贈呈していただき、バーンクロンクワーンボン校内で教師や子どもたちと一緒に植林を行いました。

さらに、貴総本部には、スラム地区の子どもたちの教育推進活動として1997年から教育奨学金事業にご支援いただいております。総勢596人に対して奨学金を支給し、204人が大学を卒業しました。ここで、巣立ちを迎え今後の活躍が期待される2人を紹介させていただきます。

① ミス・アンチャリー・ブンナーセーンさん

ニックネーム＝ブツ、24歳。2人姉妹。現在クロントイ地区の借家住まい。父親はタクシーの運転手。母親は会社の清掃員。彼女は勉強熱心で、趣味は読書と魚の養殖。彼女の夢は教師になること。ノンシーウィタヤー高校卒業後、カセサート大学家政科に合格。今年無事に卒業証書が授与されます。

もう一人は、麻薬の更生施設「生き直しの学校」チュンポーン校で立ち直り、留学をきっかけに人生が変わった青年です。

② ミスター・ブンチャイ・ランサンパットさん

ニックネーム＝ティー。麻薬の更生施設で高校課程を卒業した後、日本に1年間語学留学する機会を得ました。帰国後、約10年間当財団で日本人スポンサーとの連絡や翻訳などを担当しました。家庭を持ち、アジア語学センターの教師となり、彼の勤勉さと誠実さが高く評価されて、センター副所長に任命されました。彼は模範的なケースとして今後の青年育成に大きな影響をもたらしていくことになりそうです。

2010年度教育里親支援に対する御礼とご報告



パンニャ・メッタ・サンガ代表

サンガラトナ・法天・マナケ

パンニャ・メッタ・サンガ（智恵・慈悲）教会が運営するナグプールの「パンニャ・メッタ学園（保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校）」及びバンダラ県の「パンニャ・メッタ子供の家（孤児院）」に対し、教育里親として一隅を照らす運動総本部を通じて永年にわたりご支援いただいておりますこと、深く感謝申し上げます。また、このたびは「パンニャ・メッタ学園」教室増築のためのご支援をいただき、去る2月7日には福恵善高一隅を照らす運動総本部長に現地にお越しいただき、鍬入れ式をしていただきましたことを重ねて御礼申し上げます。

「パンニャ・メッタ子供の家」はマハラシュトナ州政府より運営認可を得ているため、年に数回は州社会福祉署から役人が抜き打ち調査に参ります。施設内外を見て回り、子供たちを集め、日常生活から学業までの面接をします。彼らが異口同音に言う事が”我々は同様の多くの施設を見て回るが、パンニャ・メッタ子供の家のような施設、環境を目にすることはほとんどない”また、”ここで生活できる子供は本当に恵まれた子供たちであり、もしパンニャ・メッタ子供の家が存在がなければ、大半の子供たちは路頭に迷い、彼らが持っている夢や希望は一つも叶うことはなかっただろう”と。

1キロ以内に同様の学校を建設し運営することは法律で禁じられているのですが、ここ数年の間に「パンニャ・メッタ学園」の周りには多くの学校が建設運営されています。そしてその多くは、学生を取り合い、教師達は授業を差し置き、学生獲得に奔走している中「パンニャ・メッタ学園」は着実に地域の信用を得て年々学生数が増えております。

「パンニャ・メッタ子供の家」および「パンニャ・メッタ学園」が行政、父兄、地元住民からも高く評価されているのは、一重に天台宗や一隅を照らす運動のお陰と感謝に堪えません。

しかし、今後の課題を考えますと、我々現地関係者には今まで以上の精進が求められており、合わせて皆様が一層のご鞭撻、ご協力をお願いする次第であります。

現在「パンニャ・メッタ子供の家」には、男子14人、女子25人の計39人の子供がおります。その中でも間もなく高等教育の修了を迎える子供達に対して、就職など将来的な展望を考慮しなければならぬ現状にあります。人口増加など諸事情により就職困難なインドにおいて、彼らの将来は大変厳しい現状にあります。教育課程時のみで我々が子供達を見放しては、子供達は大変不幸な明日を迎えることとなります。学業時は言うまでもなく、一人一人の子供が自分の足で立てるようお世話をしたいと思ひますし、皆様にも彼らの自立のためのご支援をお願い申し上げます。

「パンニャ・メッタ学園」では、男女合わせて現在681人の学生が勉強しており、増加の傾向にあります。しかし、文字の読み、多少の計算が出来るようにするだけで社会福祉として行っている学校の責任は果たされるという状況はもうありません。経済活動として運営している他の学校と同様の高等教育を施すことが望まれています。しかし、「パンニャ・メッタ学園」に在籍する家庭の大半は貧困家庭であり、教育にかかる費用に限界があります。そのような意味で「パンニャ・メッタ学園」は二つの責任を担っています。一つは高等教育を施す。もう一つは無償であること。1994年保育園から始まった学園は、多くの方々のご支援をいただき、現在10年生までを運営しており、2年後には12年生まで州政府より認可を受けられる予定です。上級クラスが増設されるにつれ、図書室および実験室等の充実も求められます。

人を育てることこそが我々の任務だと説かれた伝教大師最澄様のお言葉が、紙面上のものではなく実働のものであり、「パンニャ・メッタ子供の家」や「パンニャ・メッタ学園」を巣立った青年が一隅を照らし合い、己を忘れて他を利する人に成長できるよう、関係者一同精進したいと思っております。

長期にわたりますご支援に対しまして感謝申し上げますと共に、伝教大師最澄様の教えの流布、インド国の進展、子供達の夢を叶えるために今後一層のご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

合掌

平成22年度（第15回）教育里親制度支援報告

平成22年度教育里親制度 収入支出

収入	金	7,152,344円
支出	金	2,900,000円
収入支出差引額	金	3,852,344円（次年度繰越金）

教育里親支援金収入内訳

【1】 平成22年度 教育里親制度収入内訳

年 度	支援内容	回 数	口 数	支援額(円)
平成18年度（第11期）	継続支援	5回目	27	810,000
平成19年度（第12期）	継続支援	4回目	39	1,170,000
平成20年度（第13期）	継続支援	3回目	23	690,000
平成21年度（第14期）	継続支援	2回目	8	240,000
平成22年度（第15期）	継続支援	1回目	8	240,000
平成22年度（第15期）	一時支援			
一括支援預り金				1,890,000
計			105	7,152,344

*継続支援・・・1口3万円×5ヶ年

【2】 平成22年度 教育里親制度一括支援預り金

年 度	支援内容	預り分	口 数	預り額(円)
平成19年度（第12期）	一括支援	1年分	18	540,000
平成20年度（第13期）	一括支援	2年分	6	360,000
平成21年度（第14期）	一括支援	3年分	5	450,000
平成22年度（第15期）	一括支援	4年分	2	240,000
平成23年度以降預り金				300,000
計				1,890,000

*一括支援・・・1口3万円×5ヶ年＝15万円を一括支援
各年度毎に継続支援へ繰り入れ

【3】 平成22年度 教育里親制度支出内訳

項 目 (支援先)	継 続 支 援	
	口 数	支援額 (円)
プラティープ財団	70	2,100,000
パンニャ・メッタ 子どもの家	27	810,000
合 計	97	2,900,000

プラティープ財団奨学生抜粋

氏 名 Phawinii Ratnikon
学 年 大学 1年生 女子

このたびの震災で被害に遭われたご家族の方々にお悔やみ申し上げます。尊い命を奪い、わずかなものだけが残りました。この先は試練になりますが、我々は立ち上がってそれに向かい、収めていかなければなりませんね。最後になりましたが、試練に立ち向かい早く復興することを心より応援しております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Jirawan Rungpau
学 年 大学 3年生 女子

尊敬し敬愛する里親様。私は日本で起こった悲しい出来事に胸を痛めております。日本の皆さんにはどんな困難にも立ち向かっていけると信じています。そして早期の復興を祈っています。仏様が里親様のご家族、日本の皆様を守って下さり、みんなが幸せでありますようにと心より願っております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Chinnaphat Phaithunwong
学 年 大学 4年生 男子

こんにちは。私は Ramkamheang 大学で勉強しています。3月11日に起きた地震、津波に対し心よりお見舞い申し上げます。里親様、日本の皆様には震災による困難が早く過ぎ去り、いち早く復興することをお祈りしています。里親様には仏様のご加護がありますようにお祈り申し上げます。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Kantima Phasuk
学 年 大学 1年生 女子

日本において自然災害による大きな被害が起こったことを心よりお見舞い申し上げます。里親さまの無事をお祈りしています。私は芸術に関する仕事をしたいと思えます。その夢を叶える為に一生懸命勉強した結果、タイの有名な芸術大学に入学することができました。里親様のご支援下さる奨学金で一生懸命勉強に励むこととお約束致します。最後になりますが、里親様のご健康と幸せをお祈りいたします。

氏 名 Sitichar Seengmangmi
学 年 高校 2年生 女子

新聞のニュースで津波によりたくさんの方がお亡くなりになったと知りました。みなさんの事を心配しております。私はプラティープ財団の方々と協力して日本人を元気にするために折り紙をしました。今でも募金活動に協力しています。私も微力ですが協力できることに幸せを感じています。日本の皆様の安全をお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Wutthiphon Chathipha
学 年 中学校 3年生 男子

尊敬する里親様。僕は家で精米をしたり豚の飼育をしたりしています。僕の家は村外れにあり、学校へ行くのに朝6時に起きます。自転車とバスで通学しています。好きな教科は社会と理科です。いつもご支援して下さる里親様に日々感謝しています。この支援金は交通費、学用品に充てています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Chutinan Phuengnam
学 年 大学 4年生 女子

3月11日の日本で起こった地震に対し、心よりお見舞い申し上げます。私は里親様のご家族および日本人の皆様に、今回の自然災害による困難が早く過ぎ去るように応援しております。日本人はお互いに助けあう心が強いので、いち早く復興し元に戻ることを私は信じています。最後になりますが、里親様と里親様の家族に仏様のご加護がありますようにお祈りしております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Supansa Thongyip
学 年 大学 1年生 女子

日本において津波の災害に対して、心よりお見舞い申し上げます。今回の自然災害では多数の死傷者、被災者が多かった事を知りました。里親さまのことを大変心配しております。私は専門学校を卒業し、大学の受験に合格することが出来ました。これまで私に奨学金をご支援下さる里親様に大変感謝しております。

氏 名 Phacharaphon Keawsri
学 年 職業専門学校 3年生 女子

今回の自然災害により、原子力発電所から放射性物質が飛散し人や農作物に多大な被害を与えましたが、早期復興することを応援しております。世界中の人々も日本が元の通りになることを応援してくれていることと思います。タイの南部も洪水がありましたが、両国共にいち早い復興をお祈りします。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Wipawii Jan-ngom
学 年 高校 3年生 女子

本年は日本において自然災害により、大きな被害があったこととお見舞い申し上げます。ニュースを見て、とても悲しく思いました。私は自分ができることをしようと思い、日本を応援する T シャツを買いました。少しでも支援になれば幸せです。1日も早い復興を願っております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Sunisa Suriwong
学 年 大学 3年生 女子

里親様はお元気でしょうか。新聞のニュースで津波により多大な被害が出たことを知りました。タイで起こった津波の記憶がよみがえり、とても悲しく思いました。私は学校休みの期間両親の負担を軽減するためにアイスクリーム屋でアルバイトをしています。新しい経験をさせていただきました。最後になりますが、里親様のご健康と幸せをお祈りいたします。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Supahporn Namsri
学 年 大学 4年生 女子

私にいつも奨学金をご支援くださる里親様に大変感謝しております。日々一生懸命勉学に励んでおります。3月11日に日本で起こった災害にとっても驚きました。心よりお見舞い申し上げます。タイにおいては募金活動を行い日本への支援に協力しました。皆様のご健康をお祈りいたします。

氏 名 Manas Deeprar
学 年 職業専門学校 2年生 男子

僕は病気により去年の二学期の受験を受けられず、留年することになりました。里親様をがっかりさせることになり申し訳ありません。ですが、勉強のチャンスを下さい。僕は里親様の支援が無ければ勉強できないのです。親は一生懸命働いてくれていますが、収入が少なく、家も借家ですので費用がかかります。これからは、頂いている奨学金で、もっと勉強に励むことをお約束いたします。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Phichaphar Wongkamjan
学 年 高校 3年生 男子

テレビのニュースで日本において自然災害があったことを知りました。タイも同様にたくさんの方々がお亡くなりになり大変悲しい思いをしました。私はこのような事が二度と起こらない事を願います。日本の皆様にご健康および幸せになり、被災された方々にもいち早い復興をお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Pratyaa Moonsantia
学 年 職業専門学校 3年生 男子

テレビのニュースで日本に津波があったことを知りました。里親様は無事でしょうか。心よりお見舞い申し上げます。私の学校では募金活動を行い被災地に支援をしました。日本の皆さんが元気になれるよう応援しています。大変な状況の中、支援して下さいる里親様に大変感謝しております。最後になりますが、里親様と里親様のご家族の健康と幸せをお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Saarunyaa Phasukrit
学 年 職業専門学校 3年生 女子

私は里親様へ手紙を書くことを楽しみにしていました。いつもご支援して下さる里親様に感謝いたします。私は里親様から頂いた奨学金で、一生懸命勉強に励んでまいります。今回の日本の震災に対して心よりお見舞い申し上げます。被災された皆様のことを心より応援しております。里親様とご家族の健康をお祈りいたしております。

氏 名 Kwanchi Khematharamat
学 年 大学 3年生 男子

僕は日本において津波の被害が遭ったことを知り、とても悲しく思いました。里親様は大丈夫でしたか。僕は里親様の安全をお祈りしております。僕は今専門学校を卒業し、大学に進学しました。来年は大学卒業予定です。僕は今、土日に大学に行き、平日は働いていますので、時間はありませんが、将来の夢実現の為に頑張っています。里親様に仏様のご加護がありますようにお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Kitthiphong Srisawat
学 年 高校 2年生 男子

僕は日本の震災に対し、心よりお見舞い申し上げます。この自然災害で僕は胸が締め付けられる思いになりました。僕は震災による困難が早く過ぎ去り、いち早く復興することを願っております。最後になりますが、里親様と里親様の家族が幸せになるようお祈りしております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Sojirat Phinthuthong
学 年 大学 3年生 女子

今年私はパン屋でアルバイトを通じて新しい経験を積むことが出来ました。大学では日々勉強に一生懸命取り組んでいます。日本で起こった悲惨な災害に対し心からお見舞い申し上げます。私も募金活動を行い、少しでもお役に立てればとお手伝いさせて頂きました。里親様もお体にお気をつけ下さい。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Anuson Joraphan
学 年 職業専門学校 3年生 男子

僕はテレビのニュースで震災の事を知りました。里親様と里親様の家族はご無事でしょうか。僕はとても心配しております。僕は里親様から頂いた支援金で勉強に取り組むことが出来て大変感謝しております。これからも一生懸命勉強に励むこととお約束いたします。最後になりますが、里親様と里親様の家族が幸せになるようお祈りしております。

氏 名 Thiraphon Phiyakun
学 年 高校 2年生 女子

こんにちは。私のニックネームはジェーンです。私は16歳になりました。私の家族は、父、母、2人の兄、私を含め5人家族です。父は日雇いのドライバーをしております。母は無職で、兄は結婚しています。日本において津波で被害に遭った方々に対し、心からお見舞い申し上げます。私も含めタイの方はみんな心配しています。愛情、調和、人の助け合う力で日本が早く復興してくれることを信じております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Rattikan Phasook
学 年 高等専門学校 3年生 女子

日本の被災者の皆様にお見舞い申し上げます。日本において自然災害に遭ったことを悲しく思いました。震災による困難が早く過ぎ去り復興することを応援しています。里親様、ご家族様はお元気でしょうか。仏様のご加護がありますようにお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Sukanya Moohia
学 年 高等専門学校 1年生 女子

まず、地震および津波があったことに対し、心よりお見舞い申し上げます。今回の自然災害は恐ろしく思いました。私はテレビのニュースで被害が大きく建物や人の命を失うことを知ってショックを受けました。私は里親様と日本の皆様に、気持ちを強く持ってもらえるよう応援しております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Supphatra Munpawana
学 年 中学校 3年生 女子

私は今回日本に起きた惨事について、とても悲しく思っております。日本の皆様に気持ちを強く持って頂けるよう願っています。私はプラティープ財団と協力し、日本に支援を送るために支援活動を行っています。皆様に仏様のご加護がありますようにお祈りしております。

氏 名 Preedaphorn Thungweng
学 年 職業専門学校 3年生 女子

こんにちは。里親様はお元気にお過ごしでしょうか。私は元気です。新聞のニュースで、津波による災害が起こったことを知りました。皆様のご無事をお祈りいたします。私は Au pon pain という店でアルバイトをしております。コーヒーやサンドウィッチを作っています。勉強も一生懸命頑張ります。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Pattanuch Meesap
学 年 大学 3年生 女子

私にいつも奨学金をご支援下さる里親様に変感謝しております。私は新聞のニュースで、日本において自然災害に遭ったことを知って、心よりお見舞い申し上げます。今回の震災による被害が大きく、死傷者が多かった事を知りました。いち早い復興をお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Kusoma Koetniyorm
学 年 大学 3年生 女子

里親様こんにちは。里親様から頂いている奨学金で勉強をすることができ、日々大変感謝いたしております。里親様、お母さんに喜んでもらえるよう一生懸命勉強することをお約束いたします。日本においての災害に心よりお見舞い申し上げます。皆様に仏様のご加護がありますようにお祈り申し上げます。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Keawkamon Seatiau
学 年 大学 2年生 女子

休みの期間、タイの南部に洪水がありました。私は南部の方々の為に募金活動を行い支援しました。この活動を通じてあらためてタイ人の優しさを感じました。お互いに助け合うことの大切さを学ぶことができました。日本においても津波が起こったことを知りました。いち早い復興をお祈りしております。

氏 名 Parichard Tangngam
学 年 高校 2年生 女子

里親様こんにちは。私は夏休みの期間、親を手伝って家事をしております。空いた時間に勉強をしています。日本において津波に遭ったことに対し、心よりお見舞い申し上げます。里親様と里親様の家族に仏様のご加護がありますようにお祈りしております。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Jen Kongsomnan
学 年 中学校 3年生 女子

里親様こんにちは。日本では津波が起こり、大変な被害が出てしまったのですね。私同様タイの人々も大変心配しております。私は日本の為になにかできないかと思い、Thai For Japanプロジェクトに寄付をしました。アーティストが作った服を190パーツで購入します。そのお金が寄付になります。これからも少しの力ですが、支援を継続していきたいと思っております。最後に里親様がずっと幸福でいられますようにお祈りしています。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Jiratu Puusombuun
学 年 職業専門学校 2年生 男子

里親様のご厚意により学費の援助をして下さりましてありがとうございます。一生懸命勉強して、悪さをする事なく良い生徒となることをお約束いたします。学校が休みの間は掃除や洗濯、アルバイトをして両親を助けています。タイの正月では水かけの儀式を行ったり、お寺で僕の祖母の供養をしたりしました。最後になりましたが、里親様とご家族のみなさんの幸福を願っています。またこの度の震災を悲しく思っています。日本の力になればと思います。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 Wassana Mahaphol
学 年 職業専門学校 2年生 女子

私はテレビや新聞のニュースで、日本において自然災害に遭ったことを知って、心よりお見舞い申し上げます。里親様は無事でしょうか。タイでも洪水による被害がありました。どうぞ日本の皆様におかれましては、お気持ちを強く持ち、困難が早く過ぎ去り、早期の復興をお祈りしています。

〔新規学生〕

氏 名 ウィラッポング タングマナッチャイ Wiraphong Tangmanachai
学 年 職業専門学校 2年生 男子

【奨学生について】

ニックネームをピーという。体は丈夫で健康状態も良好である。性格は明朗快活であり、熱心に勉学に取り組んでおり、成績は標準以上である。放課後は宿題をし、予習復習をする。学校で好きな教科は体育である。好きな動物は犬で、好きなスポーツは卓球である。将来は医者を目指している。

【奨学生および家族の状況】

ピーは母親と姉の3人家族である。父親は2002年に亡くなっている。そのため母親一人で家族全員の生活を支えており困難な状態にある。母親は日雇いでイカ工場で働いている。1日の収入は210バーツである。家族の中で2人が就学しており、学年が上がるごとに学費も高くなり、一家の生活を圧迫している。母親は子供達の学費を工面するため、職場の友人から借金をすることもある。家族は貧しく母親一人の収入では充分ではない。また、一家の住まいは借家であり、月々1600バーツを支払っている。

☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒ ∞ ☒

氏 名 チャーノン サントウアング Chanon Sangthuang
学 年 職業専門学校 2年生 男子

【奨学生について】

ニックネームをベーングという。健康状態は良好であり、性格は明るい。好きな科目はコンピュータの授業であり、好きな動物は魚、好きな色は赤、好きなスポーツはサッカーである。将来は警察官になりたいそう。放課後は宿題をして、読書をし、母の商売を手伝う。

【奨学生および家族の状況】

ベーングは2人兄弟の末っ子である。両親は離婚し、父親は家族の責任を母親に押しつけて家を出て行った。母親は子供の養育のためにカノムジーンという麺料理を作り、販売している。収入は1日300バーツほどであり、客足に左右されるため不安定である。2人の子供は学校に通っており勉強に必要な費用が嵩んでいる。伯母も一緒に住んでおり、収入はあるが、家計の生計を助けるまで収入が無い。家族には高齢で働くことができない祖母もいる。家族は困難な状況にあり困窮している。家では水道、電気料金として月額800バーツを支払う。

パンニャ・メッタ子供の家在籍者リスト

以下のとおり、2012年3月末日現在のPM子供の家在籍者（男子14名・女子25名・合計39名）をご報告申し上げます。なお記載の学年は、1年生から4年生が小学生、5年生から10年生までが中学生、11年生から12年生が高校生です。

【男子の部】

1. プラシク・メシュラム Prshik Meshram

性別：男子

年齢：2000年6月25日生まれ 11歳

学年：5年生

備考：両親他界。養育する人もなく、見かねたバンダラ県社会福祉部長が、二人の姉（スネハ、マンジュシャ）と共に連れて来た。エンジニアになりたい。

2. マハシュ・カネカル Mahesh Kanekar

性別：男子

年齢：2000年6月20日生まれ 11歳

学年：5年生

備考：母死亡。扶養していた祖母が老齢のために孫たちの将来を考え、7歳年上の姉カリシュマと共に連れて来た。運動神経が抜群、学校でカバディのキャプテンを務めている。弁護士になりたい。

3. アカシュ・ゴンドネ Akash Gondane

性別：男子

年齢：1998年7月16日生まれ 13歳

学年：6年生

備考：父他界。安価な日当で肉体労働をしている母親が、高等教育を施せないことを考え、2歳年上の兄ナゲシュと共に連れて来た。子供の家に来るまでは学校に行けなかったため、2学年下の学級に通っている。技師になりたい。

4. プラフッラ・ワグマレ Praful Wagmare

性別：男子

年齢：1997年7月3日生まれ 14歳

学年：8年生

備考：父親他界。日雇い労働に従事しながら子供たちを養っていた母親が、衣食もままならない状態を考慮し、将来高等教育を受けられる環境を模索。5歳年下の妹カジャルと共に子供の家に連れて来た。警察官になりたい。

5. アクシャイ・サクレ Akshai Sakre

性別：男子

年齢：1996年6月9日生まれ 15歳

学年：8年生

備考：父死亡。母は病弱。人力車の運転で糧を得ている祖父の所に身を寄せたが、給金も少なく、高齢化のために養えないため連れて来た。勉強以上にスポーツが万能。運転手になりたい。

6. ナゲシュ・ゴンドネ Nagesh Gondane

性別：男子

年齢：1995年10月26日生まれ 16歳

学年：8年生

備考：父他界。50ルピーほどの日当で日雇い労働に従事している母親が、将来の教育を考慮して、2歳年下の弟アカシュと共に連れて来た。家庭内にいる時間が少ない母親に代わって小さい時から弟の世話をしてきたためか、子供の家でも子供たちの世話を良くしている。運転手になりたい。

7. シャイレシュ・コルテ Sailesh Kolte

性別：男子

年齢：1995年12月26日生まれ 16歳

学年：9年生

備考：両親が肉体的脆弱。母親が他家で働いてはいるが養育ができず、子供の家に来て来た。世話好きな性格で、率先して他の子供の面倒を見ている。警察官になりたい。

8. プラヴィン・メシュラム Pravin Mwshram

性別：男子

年齢：1996年6月7日生まれ 15歳

学年：10年生

備考：両親他界。扶養していた祖父母が老齢のため扶養が叶わず、子供の家に来て来た。祖父母に恩返しをしたい一念で学業に専念している。鉄道技師になりたい。

9. パンカジ・ガジビエ Pankaj Gajbiye

性別：男子

年齢：1995年9月11日生まれ 16歳

学年：10年生

備考：母他界。父盲目のため養育者を失い、町の有志が子どもの家に連れて来た。10年生と12年生を卒業するには州の共通試験をパスしないと行けないが、大変困難な試験であるため、懸命に勉学に勤しんでいる。教師になりたい。

10. ラフラ・ウケ Rahul Ukey

性別：男子

年齢：1995年6月19日生まれ 16歳

学年：10年生

備考：父他界。再婚した母が養育を拒否したために、子供の家に来て来た。勉強を好み、率先して勉強をする。技師になりたい。

11. アンジュル・ゴタフォデ Anjul Gotafode

性別：男子

年齢：1993年5月15日生まれ 18歳

学年：12年生

備考：母他界。父は病弱なために養育が叶わず、2歳年下の妹ソナリと共に子供の家に来た。本年は12年生とあって、例年以上に勉学に専念する必要がある、勉強に明け暮れた一年になった。コンピューター技師になりたい。

12. ロヒト・ダヌヴィジャイ Rohit Dhanvijai

性別：男子

年齢：1992年5月16日生まれ 19歳

学年：12年生

備考：母他界。父は出稼ぎ労働者のために地方を転々としており、子供たちに眼が届かないことを憂い、3歳年下の妹テジュと共に連れて来た。12年生のために学業にも専念したが、年長者の一人であるという自覚を忘れず、子供の家や子供たちの世話もよくしている。

13. アナンダ・ロドゥゲ Anan Rodge

性別：男子

年齢：1990年3月15日生まれ 22歳

学年：12年生

備考：両親他界。姉の嫁ぎ先で養育されていたが、姉も死亡。4歳年上の兄チェタン（既に卒園）と共に来た。勉強熱心。技師になりたい。

14. ガウタム・ウケ Gautam Ukey

性別：男子

年齢：1984年7月5日生まれ 27歳

学年：法学部修士課程

備考：PM子供の家の第一期生。1991年、小学校入学前に子供の家に来た。法学部を卒業して弁護士の資格を取得。同学部修士を目指し、上級弁護士事務所の助手をしながら学業に励んでいる。

以上男子14名

【女子の部】

1. マンジュシャ・メシュラム Manjyusya Meshram

性別：女子

年齢：2002年10月6日生まれ 9歳

学年：3年生

備考：両親他界。養育する人もなく、見かねたバンダラ県社会福祉部長が兄と妹と共に連れて来た。飛行機の客室アテンダントになりたい。

2. チャクリ・ラムテケ Cyakuni Ramteke

性別：女子

年齢：2000年6月15日生まれ 11歳

学年：4年生

備考：父他界。僅かな日当で姉妹2人を養育していた母親が、女性一人の稼ぎでは、日常生活にも事欠き、5歳上の姉バルティと共に子供の家に連れて来た。エンジニアになりたい。

3. ネハ・ドケ Neha Dhoke

性別：女子

年齢：2002年6月11日生まれ 9歳

学年：6年生

備考：両親他界。身寄りがなかったために、生家の町の有志が一時期世話をしたが年齢と共に負担も増し、本人の将来を考え、子供の家に連れて来た。闊達な負けず嫌い。医師になりたい。

4. カジャール・ワグマレ Kajal Wagmare

性別：女子

年齢：2002年2月16日生まれ 10歳

学年：6年生

備考：父他界。母親一人の稼ぎでは、母子の衣食すら賄えず、5歳上の兄プラックと共に子供の家に連れて来た。警察になるには学業と体力両方が必要と思い文武に励んでいる。

5. アカンシャ・ウケ Akansya Ukey

性別：女子

年齢：1999年11月13日生まれ 12歳

学年：6年生

備考：父他界。母の稼ぎでは通学が望めず、子供の家に連れて来た。男勝りの性格で、必要とあらば男女問わずに世話をする。エンジニアになりたい。

6. スネハ・メシュラム Sneha Meshram

性別：女子

年齢：1999年3月23日生まれ 13歳

学年：6年生

備考：両親他界。養育する人もなく、見かねたバンダラ県社会福祉部長が、二人の兄弟（プラシク、マンジュシャ）と共に連れて来た。上級公務員になりたい。

7. ニキタ・ジャンバンドゥ Nikita Janbandhu

性別：女子

年齢：1998年11月26日生まれ 13歳

学年：7年生

備考：母他界。父親が定住できない職業のため、2歳上の姉カンチャンと共に連れて来た。子供の家の環境を得て大きく成長し、常時トップクラスの成績を修めている。警察官になりたい。

8. プージャ・ガヌヴィル Pujya Ganvir

性別：女子

年齢：1998年8月10日生まれ 13歳

学年：7年生

備考：両親死亡。叔母のところに身を寄せていたが、叔母自身が子沢山のために長期で養育することができず、姉のアムラパリと共に子供の家に来た。警察官になりたい。

9. プラガティ・ムン Pragathi Moon

性別：女子

年齢：1999年8月16日生まれ 12歳

学年：8年生

備考：父他界。母の稼ぎでは姉妹に高等教育を施せないと、1歳年下の妹パッラヴィと共に子供の家に連れて来た。実家では生きる全ての術を失っていたが、子供の家の環境によって夢を持つことができた。国境警備隊になりたい

10. アシュヴィニ・インカネ Ashvini Inkane

性別：女子

年齢：1999年6月7日生まれ 12歳

学年：8年生

備考：母他界。家も無く、父は仕事で転々としているため子供に眼が届かず、2歳年上の姉ヴァイシュナヴィと共に子供の家に来た。性格も闊達に加え努力家のため、例年トップレベルの成績で進学して進学している。

11. バルティ・ラムテケ Bharthi Ramteke

性別：女子

年齢：1998年8月7日生まれ 13歳

学年：8年生

備考：父他界。母が僅かな日当では姉妹2人の養育はままならない状態であったため、妹チャクリと共に子供の家に連れて来た。パイロット或いは看護婦になりたい。

12. ヴァイシュナヴィ・インカネ Vaishnavi Inkane

性別：女子

年齢：1997年11月12日生まれ 14歳

学年：8年生

備考：母他界。住む家も無く、父も仕事のために場所を変えねばならず、子供達に目を向けることができないため、2歳年下の妹アシュヴィにと共に子供の家に連れて来た。自分のことと同様に、周りの人のことも気にする。医師になりたい。

13. パッラヴィ・ムン Pallavi Moon

性別：女子

年齢：1998年3月23日生まれ 14歳

学年：9年生

備考：父他界。日雇い労働をしている母親の給金では日常生活も思うように行かず、高等教育を受けさせたいとの思いから1才年上の姉プラガティと共に子供の家に来た。母の苦勞に報いたいと、将来を見据え、常に勉強をしている。エンジニアになりたい。

14. アムラパーリ・ガヌヴィル Amrapali Gamvir

性別：女子

年齢：1997年5月3日生まれ 14歳

学年：9年生

備考：両親死亡。叔母のところに身を寄せていたが、叔母自身が子沢山のために長期で養育することができず、妹プージャ・ガンヴィルと共に連れて来た。教師になりたい。

15. マドゥリ・ケワト Madhuri Kewat

性別：女子

年齢：1996年12月18日生まれ 15歳

学年：9年生

備考：母他界。父親が繰り返す悪業を村の人が見かねてバンドラ県社会福祉青少年課に預け、学年途中ではあったが社会福祉青少年課の推薦で子供の家に来た。看護師になりたい。

16. カリシュマ・カネカル Karishma Kanekar

性別：女子

年齢：1995年10月25日生まれ 16歳

学年：9年生

備考：母他界。扶養者も健康や高齢のために養育する事ができず、7歳下の弟マヘシュと共に子供の家に来た。勉強熱心、教師になりたい。

17. ディヴィヤ・ワグマレ Divya Wagmare

性別：女子

年齢：1997年6月26日生まれ 14歳

学年：10年生

備考：両親他界。2歳年上の姉バウナと共に子供の家に来た。淡々と一つひとつのことを丁寧に正確にこなす。看護師になりたい。

18. カンチャン・ジャンバンドウ Kanchan Janbandu

性別：女子

年齢：1996年7月20日生まれ 15歳

学年：10年生

備考：母他界。父親の事情により2歳年下の妹ニキタと共に子供の家に来た。実家での苦労と子どもの家での幸福の両面を知っている彼女は、子供の家に来た当初から自分が得た幸福を多くの人に分けたいと勉学に励み、ホテルマネージメントに進みたい夢を持っている。

19. バウナ・ワグマレ Bhawna Wagmare

性別：女子

年齢：1995年10月25日生まれ 16歳

学年：10年生

備考：幼児期に両親他界。困難な日常を送って来たが、2歳下の妹ディヴィヤと共に子供の家に来て、子供らしい時間を得るにより将来に夢を持てるようになった。教師になりたい。

20. ソナリ・ゴタフォデ Sonali Gotafode

性別：女子

年齢：1995年10月23日生まれ 16歳

学年：10年生

備考：母他界。父は健康を害し扶養困難。2歳年上の兄アンジェルと共に子供の家に来た。病弱の父親の暮らしを少しでも楽にしたいと教師になるために一生懸命に勉強している。

21. テジュ・ダンヴィジャイ Teju Dhanvijai

性別：女子

年齢：1995年2月29日生まれ 17歳

学年：10年生

備考：母他界。父親は、日々の糧を得ることに負われ、物心両面にわたり子供たちに目が届かず、3歳年上の兄ロヒトと共に子供の家に連れて来た。面倒見のいい性格。コンピューター技師になりたい。

22. プージャ・カンブレ Puja Kamble

性別：女子

年齢：1994年10月25日生まれ 17歳

学年：12年生

備考：両親他界のために、3歳上の姉シャルダ（3年前に卒園）と共に子供の家に来た。12年生と言う卒業困難な学年のため、学業一途の年。コンピューターエンジニアになりたい。

23. テジャスヴィニ・ワスニク Tejasvini Wasnik

性別：女子

年齢：1994年9月11日生まれ 17歳

学年：12年生

備考：両親他界。養育していた老齢の祖父が子供の家に連れて来た。とにかく勉強が大好き。医師を目指して猛勉強をしている。

24. レカ・ワルケ Rekha Walke

性別：女子

年齢：1991年1月1日生まれ 21歳

学年：大学教職課程

備考：父他界。母親が養育していたが、衣食すらままならず、経済的に教育まではまかないきれず子供の家に連れて来た。教職課程がもう1年残っており、卒業に向けて勉強している。教師になりたい。

25. ナリニ・ポトポセ Narini Potpose……………里親支援対象外

性別：女子

年齢：1984年5月13日生まれ 27歳

学年：大学教職課程

備考：両親他界のため、2歳年下の弟サチン（既に卒園）と共に子供の家に来た。教師になりたい。

以上女子25名

教育里親制度ご支援者名簿（教区順・敬称略）

平成18年度支援者

○継続支援（5年間の支援）

【一般】瀧裕善、青木敏子、黒川浩吉、橋本良枝【延暦寺】延命院・獅子王圓泰【京都】覚円院・奥村慶淳【近畿】本山寺・百濟寂仁【兵庫】普門寺・藤本恵祐【岡山】新龍寺・一色教圓

【東京】最勝寺・山田俊和、円珠院・杉谷義純、水上晴美【南総】遍照寺・白鳥憲舜、延寿寺・白川良威【埼玉】圓能寺・光栄純映【茨城】妙行寺・大宮孝詮【栃木】観明寺・勝呂俊裕【陸奥】薬王院・千葉秀海

○一括支援（15万円一括の支援）

【一般】水野光章【東京】養壽院・赤沼廣海

○一時支援（継続、一括以外の支援）【一般】古澤正彦、鈴木和子、有川弘子、乗附京子【九州西】東明寺・三重野仁澄【茨城】西福寺【陸奥】延壽院・山本峰聖

平成19年度支援者

○継続支援（5年間の支援）

【一般】渡邊喜久次、井上雪江、玉川由季子、西村慶二、谷口澄昭、松下澄旺・慶純、野村幸恵【滋賀】金剛輪寺・濱中光礼【京都】妙法院門跡・菅原信海【兵庫】兵庫教区寺庭婦人会【九州東】金光明寺・廣瀬邦照【神奈川】永井礼子【東京】現龍院・浦井正明、本覚院・大照晃順、東福寺・清水宗純、永安寺・金子聡秀、金子教子【北総】梅宮千枝子

鈴木洋子【群馬】安養寺「にんげん」の会、観音寺・菌実丞

○一括支援（15万円一括の支援）【一般】鈴木和子、中農弘三、瀧良英内藤巧、石井貞治【東京】圓通寺・瀧良英、津梁院・長澤徳栄、東漸院・筑土秀玄、玉泉寺・浮岳貞昭、玉泉寺檀信徒会【陸奥】東雲寺・山田亮清

○一時支援（継続、一括以外の支援）【一般】鈴木和子、酒井悦子【九州東】文殊仙寺・秋吉文隆【茨城】西福寺一隅会【陸奥】延壽院・山本峰聖

平成20年度支援者

○継続支援（5年間の支援）【一般】谷口清、坪内鈴代、平賀敬敏【兵庫】

浄心院・茂渡俊慶【神奈川】小山眞佐子【東京】普明寺・勝野隆昭

普明寺檀徒会【南総】真光寺・小林祐順、法興寺・中村守正

能満寺・高橋隆叡、南総教区12部連合檀信徒会

○一括支援（15万円一括の支援）【一般】鈴木和子

○一時支援（継続、一括以外の支援）【一般】河合智道、吾妻寿子、原田厚

【信越】光明寺・鈴木大和【茨城】西福寺・志鳥融光、一隅を照らす運動

西福寺支部【陸奥】延壽院・山本峰聖

平成21年度支援者

○継続支援（5年間の支援）

【一般】高田美恵子、岡本佳治・容子【北総】佛法寺 杉山幸雄

○一括支援（15万円一括の支援）

【一般】峯岸正幸、湯原守、木村祐久、谷本千恵

○一時支援（継続、一括以外の支援）

【一般】湯原守、井上昌子、原田孝【群馬】安樂寺・大澤祐敬【茨城】

西福寺・志鳥融光【陸奥】延壽院・山本峰聖

平成22年度支援者

○継続支援（5年間の支援）

【一般】中農弘三【神奈川】妙楽寺・溝江光運

【南総】清水寺・井上享海【栃木】観明寺・勝呂俊裕

【陸奥】永泉寺・中臣亮啓【山形】性相院・後藤仁田

○一括支援（15万円一括の支援）

【茨城】長松寺・池田晃隆、来迎院・小川晃史

○一時支援（継続、一括以外の支援）

【一般】清水亨桐、酒井一匡、菱山清佳

【茨城】西福寺・志鳥融光【陸奥】延壽院・山本峰聖

おわりに

日頃は、一隅を照らす運動総本部の『教育里親制度』にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成8年度からスタートいたしました『教育里親制度』も15年目を終え、平成22年度中にお預かりしました「里親育英金」総額2,900,000円を第15回目の継続支援金として報告のとおり送金させていただきました。

タイにおける教育支援については、「プラティープ財団」を通じて、教育の機会を失っているスラム地域やタイ東北農村部の子どもたちに「里親育英金」が支給されております。都市部にスラムが形成される原因は、農村部との経済格差にあると言われ、現金収入を求めて首都バンコクに流入する人口は年々増加傾向にあります。しかし、就職先も少なく、低賃金で危険が伴う日雇い労働しか仕事が無かったり、日雇い労働に就けない女性は性産業へ従事することを余儀なくされているのが実状です。そして、いずれ薬物中毒やエイズ等に冒されるというケースが少なくありません。こういった悪循環をくい止めるために、同財団では奨学金の支給を行い、親の経済負担の軽減と、子どもたちに教育の機会と社会生活の正しい知識を与える活動を続けています。

一方、インドにおける教育支援については、仏教道場「禅定林」を建立し、社会福祉活動を続けるサンガラトナ・法天・マナケ師を通じて、孤児院「パンニャ・メッタ子供の家」の子どもたちに「里親育英金」を届けております。特に来年はインド共和国マハラシュトラ州バンダラ県ポーニ市ルヤード村にあります禅定林大本堂が落成してから六年を迎えるにあたり、パンニャ・メッタ学園のさらなる施設充実化をはかると共に社会に貢献できる一隅を照らす人材の育成に努めています。

このように、教育支援を柱とした取り組みとサポートを、タイとインドにおいて続けております。

一隅を照らす運動では、伝教大師様のみ教えとご精神に基づき、この『教育里親制度』を通じて世界の子どもたちが平等に学び、平等に育ち、立派な社会人となることを目指した支援を続けております。地球の未来を担う子どもたちのために、この活動の輪がますます広がりますよう、皆さまの末永いご支援とご協力をお願い申し上げます。

一隅を照らす運動総本部長 福 惠 善 高

私たちも一隅を照らす運動を応援しています

団体会員

住 所

株式会社滋賀銀行坂本支店	滋賀県大津市
ヨシダ印刷株式会社	京都府京都市
株式会社S・C・Cコミュニケーションズ	東京都新宿区
嵯峨野観光鉄道株式会社	京都府京都市
株式会社ティーシーエス	滋賀県大津市
京信システムサービス	京都府京都市
魚栄	滋賀県大津市
京都山門出入方	京都府京都市
下野三楽園	栃木県宇都宮市
株式会社ハン六	滋賀県大津市

第15回 教育里親支援報告

編集発行 一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」
〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
TEL : 077-579-0022 / FAX : 077-579-2516
ホームページ : <http://ichigu.net>
E-mail : info@ichigu.net

あなたの支援を待っている子どもたちがいます



教育里親募集のお願い

一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」では、国外の恵まれない子どもたちのために『教育里親制度』の協力者を募集しています。世界には、貧しさや不幸な家庭環境のために教育を受ける機会を失っている子どもたちが沢山います。子どもたちは、これからの地球の未来を担う「宝物」です。あなたの真心のこもった支援金を子どもたちのために分けて下さい。登録は「個人」のほか、檀信徒会やご詠歌会などの「グループ」でも結構です。

この支援は、年額3万円（1口）を5年間継続してご支援いただくことを原則としておりますが、金額の多少にかかわらず、一時的な支援も受け付けております。

- ◎継続支援：年額3万円（1口）を5年間
- ◎一時支援：1口 3千円から
- ◎支援先：*ドゥアン・プラティープ財団（タイ）
*パンニャ・メッタ子どもの家（インド）
- ◎申込方法：総本部へご連絡下さい。
申込書と関係資料をお送りいたします。
- ◎申込先：一隅を照らす運動総本部
〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2
TEL 077-579-0022 FAX 077-579-2516
- ◎振替口座：01050-1-69505
一隅を照らす運動総本部
地球救援事務局
- この教育里親制度は、皆様からの支援金を総本部が取りまとめて、責任をもって支援先に届ける制度です。
- 里親として登録いただいた方には、年額3万円（1口）を5年間継続してご支援をお願いします。
- 里親の方には、子どもたちからの手紙等を掲載した支援報告書をお届けします。
- 一時支援の方には、送金いただいた年度の支援報告書をお届けします。

一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」